

I

問1	(1)	$\sqrt{\frac{k}{m}}d$ [m/s]	(2)	$d > \sqrt{\frac{2mgh}{k}}$
	(3)	$\frac{m}{m+M}v_0$ [m/s]	(4)	$d' > \sqrt{\frac{2(m+M)mgh}{kM}}$

問2	(5)水平方向	$v_1 \cos \alpha$ [m/s]	鉛直方向	$v_1 \sin \alpha - gt_1$ [m/s]
	(6)斜面方向	$g \sin \beta$ [m/s ²]	斜面に垂直な方向	$-g \cos \beta$ [m/s ²]
(7)	$\frac{2v_1 \sin(\alpha + \beta)}{g \cos \beta}$ [s]	(8)	$\frac{2v_1^2}{g \cos \beta} \cos \alpha \sin(\alpha + \beta)$ [m]	
	$\frac{\pi}{4} - \frac{\beta}{2}$ [rad]			
(10)	(10)斜面方向	$\frac{2\sqrt{3}}{3}v_1$ [m/s]	斜面に垂直な方向	ev_1 [m/s]
	(11)	$e > \frac{2}{3}$	(12)	$\frac{\sqrt{3}v_1^2}{12g}(e+2)(3e-2)$ [m]

II

問 1

(1)	$\frac{\varepsilon S}{d}$	[F]	(2)	$\frac{I_e}{\omega C}$	[V]
(3)	$\frac{V_e}{\sqrt{R^2 + \left(\frac{2}{\omega C}\right)^2}}$	[A]	(4)	$I_e^2 R$	[W]

問 2

(5)	$\frac{V_e}{\sqrt{R^2 + (2X_L - 2X_C)^2}}$	[A]	(6)	$\frac{V_0^2}{2 \left(R + \frac{(2X_L - 2X_C)^2}{R} \right)}$	[W]
(7)	$\frac{V_0 I_C}{2}$	[W]	(8)	$V_0 \frac{R}{R^2 + (2X_L - 2X_C)^2}$	[A]
(9)	X_C	[\Omega]	(10)	0	[V]
(11) 選択肢： 大きくなる 小さくなる 変わらない					

理由

直	列	共	振	に	よ	り	極	板	間
に	か	か	る	電	圧	を	コ	イ	ル
に	か	か	る	電	圧	が	打	ち	消
す	。	そ	の	結	果	,	電	源	電
圧	が	全	て	抵	抗	に	か	か	る
よ	う	に	な	る	か	ら			

40

60

問 3

(12)	$V_e^2 \frac{R}{(r + R)^2}$	[W]	(13)	r	[\Omega]
------	-----------------------------	-----	------	-----	----------

III

問 1

(1)	0.1 ms	(2)	(b)
(3)			
(4)	2000 Hz		

問 2

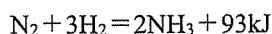
(5)	変位の腹 変位の節	(6)	425 Hz
(7)	600 mm	(8)	800 mm
(9)	$\frac{2}{3} L_0$ (m)	(10)	$\frac{9}{4} M_0$ (kg)

2024年度(令和6年度) 前期日程 化学 解答例

I

問1

$$Q=391 \times 6 - (945+436 \times 3)=93 \text{ kJ}$$



アンモニア 1 モル当たりの生成熱は $93 \text{ kJ}/2\text{mol}=46.5 \text{ kJ/mol}$

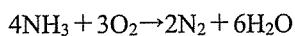
問2

イ

問3

アンモニアは極性分子であり分子間に水素結合があるため沸点が高くなる。

問4



問5



$$\text{よって、電離定数 } K_b = [\text{NH}_4^+][\text{OH}^-]/[\text{NH}_3] = (C\alpha)(C\alpha)/C(1-\alpha) = C\alpha^2/(1-\alpha) = C\alpha^2$$

$$\text{ゆえに } \alpha = \sqrt{K_b/C}$$

$$(2) \text{ NH}_3 = 14+3=17 \quad 3.4\text{g}/17=0.2\text{mol} \quad C=0.2/(0.1\text{L})=2.0\text{mol/L}$$

$$\alpha = \sqrt{K_b/C} = \sqrt{(2.4 \times 10^{-5}/2)} = \sqrt{(4)(3)(10^{-6})} = 2\sqrt{3} \times 10^{-3}$$

$$C\alpha = 2 \times 2\sqrt{3} \times 10^{-3}$$

$$= 4 \times 1.73 \times 10^{-3}$$

$$= 6.92 \times 10^{-3} = 6.9 \times 10^{-3}\text{mol/L}$$

$$(3) \text{ 水のイオン積} \quad [\text{H}^+][\text{OH}^-] = 10^{-14}$$

$$[\text{H}^+] = 10^{-14}/[\text{OH}^-] = 10^{-14}/4\sqrt{3} \times 10^{-3} = 10^{-11}/(2^2 \times 3^{1/2})$$

$$\text{pH} = -\log_{10}[\text{H}^+] = -\log_{10}\{10^{-11}/(2^2 \times 3^{1/2})\}$$

$$= 11 + 2\log_{10}2 + (1/2)\log_{10}3 = 11 + 0.6 + 0.24$$

$$= 11.84$$

$$= 11.8$$

問6

反応容器内に水素 3nmol 、窒素 nmol 入れたとすると物質量は 4nmol 。

窒素が $x\text{mol}$ 反応したとすると容器内の物質量は水素 $3n-3x$ 、窒素 $n-x$ 、アンモニア $2x\text{mol}$ となる。

したがって、反応後の物質量は $(3n-3x)+(n-x)+2x=4n-2x\text{mol}$ となる。

減少した物質量は $4n-(4n-2x)=2x\text{mol}$ となる。

$$PV=nRT \text{ より, } (2.00 \times 10^7 - 1.60 \times 10^7)(10^4) = (2x)(8.3 \times 10^3)(273 + 427)$$

$$2x = (0.40 \times 10^{11}) / (8.3 \times 10^3)(700)$$

$$= (4 \times 10^{10}) / (5.81 \times 10^6)$$

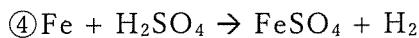
$$= 0.688 \times 10^4 = 6.9 \times 10^3 \text{ mol}$$

II

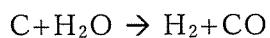
問 1

A 還元 B 不動態 C 淡緑 D 黄褐 E 緑白 F 赤褐

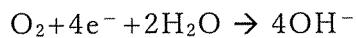
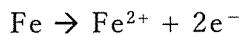
問 2



問 3



問 4



問 5

酸化物は Fe_2O_3 でありその分子量は 160

Fe_2O_3 モル数は $2.5 \times 10^{-3} / 160 = 0.0156 \times 10^{-3}$

溶液の $\text{Fe}(\text{III})$ のモル濃度は

$$0.0156 \times 10^{-3} \times 2 \times 1 / 0.01 = 3.12 \times 10^{-3} = 3.1 \times 10^{-3} \text{ mol/L}$$

問 6

$$0.36 / 0.62 \times 2 (\text{mg/L}) = 1.161 \text{ mg/L}$$

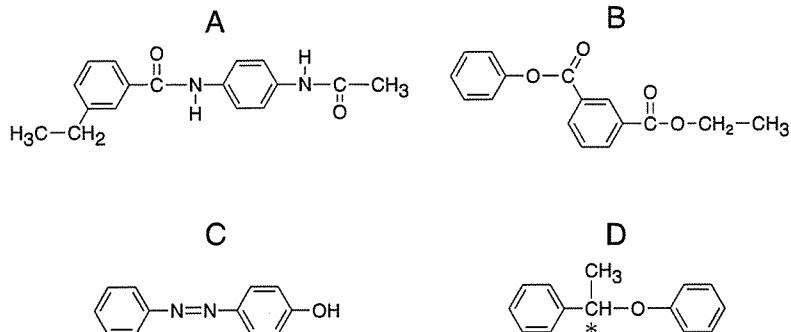
$$1.161 / 56 = 0.0207 \times 10^{-3} = 2.1 \times 10^{-5} \text{ mol/L}$$

問 7

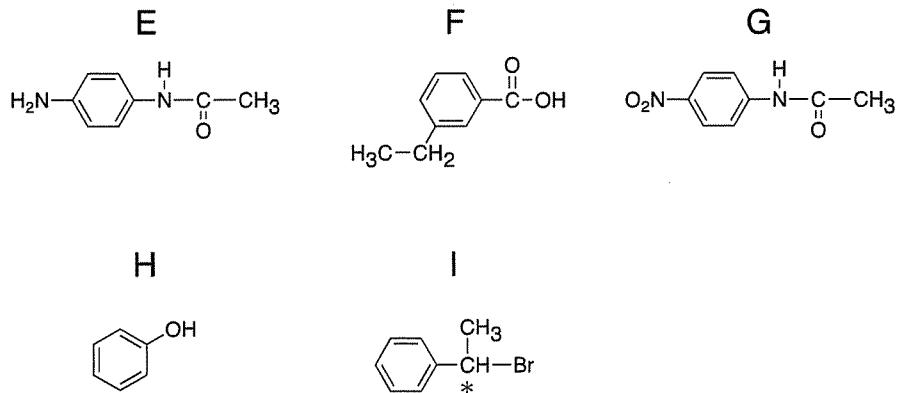
最初に溶液中の $\text{Fe}(\text{II})$ イオン濃度を求める。次いで $\text{Fe}(\text{III})$ イオンを還元した後に測定を行い、全 Fe イオン濃度を求める。全鉄イオン濃度から、最初に求めた $\text{Fe}(\text{II})$ イオン濃度を引くことにより $\text{Fe}(\text{III})$ イオン濃度を求める。

III A

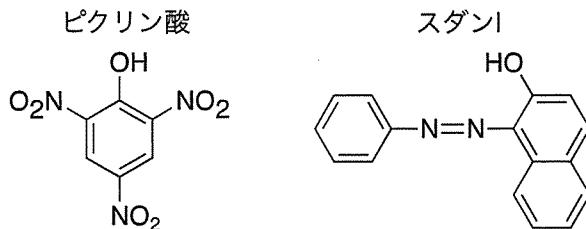
問 1



問 2



問 3



問 4 ア : 99、イ : 67

導出過程 :

- 52 g のスチレンの物質量は 0.5 mol であるため、理論上得られる化合物 D(分子量 198)は、 $198 \times 0.5 = 99$
よって、ア : 99

- 理論上得られる化合物 D は 99 g であるため、2 段階目の収率をイ、 $47.52 = (\text{イ} / 100) \times (72 / 100) \times 99$ 。これを解くと、 $X = 66.66 \approx 67$ となる。
よって、イ : 67

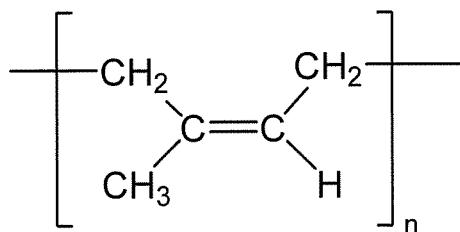
III B

問 1 ア：結晶 イ：非結晶（無定形） ウ：熱硬化 エ：イオン交換樹脂

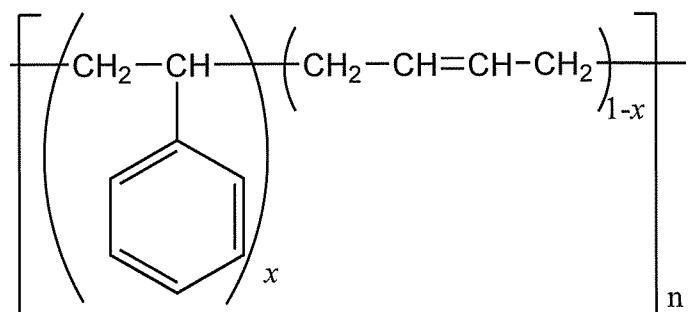
問 2 HDPE に比べて LDPE は結晶性が低く非晶部分が多いいため、透明性が高い

問 3

(1) (シス-) ポリイソブレン



(2)



スチレンとブタジエンの組成式は C₈H₈、C₄H₆ であるから、スチレンの割合 x とすると、重

$$\text{量比は炭素 : 水素} = [96x + 48(1-x)] : [(8x + 6(1-x))] = [48x + 48] : [2x + 6] = 9:1$$

$$18x + 54 = 48x + 48 \rightarrow 30x = 6 \rightarrow x = 0.2$$

問 4

酸：ノボラック、塩基：レゾール

硬化剤が必要なのは、ノボラック

問 5 架橋ポリアクリル酸ナトリウムは水中で電離し、側鎖である COO⁻同士の静電反発により網目が広がるため。

問 6 水素イオン (H⁺、プロトン、H₃O⁺、ヒドロニウムイオン)

塩化物イオン (Cl⁻)